

全労金2024春季生活闘争ニュース・第8号

～勝ち取ろう賃金改善！進めようジェンダー平等！みんなで一歩先のステージへ！～

新潟・セントラル労組の要求概要と交渉への決意を紹介します！

◎新潟労組の要求概要

		新潟労組									
		正職員 (要求範囲：全職員)	準職員				再雇用嘱託職員			継続雇用職員	
			A	B	フルタイムC	パートタイムC	再雇用職員	再雇用 準職員A	再雇用 準職員B	再雇用 準職員C	フルタイム
基本賃金	改善内容	10,000円	10,000円	10,700円	時給70円	10,000円		10,700円	10,700円	時給70円	
	定昇相当額 (実在者平均)	5,700円 (正職員・準職員加重平均)	5,700円 (正職員・準職員加重平均)				-	-	-	-	
	合計	15,700円	15,700円	16,400円		10,000円		10,700円	10,700円	時給70円	
	賃金改善率	5.00%	5.00%				-	-	-	-	
最低賃金		時間額1,132円、日額8,300円、月額174,300円への引き上げ									
一時金		4.8	3.0	3.0	3.0	月数換算 3.0	制度化(1.0)			制度化(1.0)	
昨年実績		4.8	3.0	3.0	1.5	1.5換算	慰労金0.5			慰労金0.5	
安定雇用	無期転換	-	(実現)				-				
	登用制度	-	(実現)				-				
雇用環境	私傷病休職	(実現)				-					
	育児時短	(小学校3年生以上、申請方式)									
単組独自要求		別居手当見合い分として、38,000円の支給 借り上げ社宅入居対象者のうち佐渡支店赴任者に、離島手当として月額30,000円の支給 金庫の各種制度について、「同性パートナー」「事実婚パートナー」と「その家族」を法律婚同等に扱う									

《新潟労組・陸副闘争委員長（写真は前列右から2番目）の決意》

2024春季生活闘争は、昨年度から続く物価上昇等を背景に継続的な賃上げを実現していく重要な闘いとなります。

新潟労組においては、昨年度、数十年来のベア要求を勝ち取った歴史的転換点であったことから、引き続き支部での討議やオルグでの議論において、多くの組合員から全職員のベアを求める声が強くありました。そのような中で、本春闘における基本賃金は、全労



金方針に基づき定期昇給維持相当分を含め5%（以上）上昇するよう組み立てていますが、職層（賃金）によって異なる要求額とせず、原則一律の要求額とすることで「底上げ」「底支え」「格差是正」の実現をめざします。

新潟労金を取り巻く環境は、人口構造の変化による中長期的な預金量減少や、近年殆ど誰も経験のない金利上昇基調の継続が見込まれる等、大きな変化を迎えようとしています。そのような厳しい環境の中だからこそ、全国で闘っている仲間と想いを共有し、拘りを持って闘いを進めていきます。ともに頑張りましょう。



◎セントラル労組の要求概要

		セントラル労組						
		正職員 (要求範囲：組合員層)	準職員	サポート職員	再雇用嘱託職員			
					Aコース	Bコース	Cコース	
基本賃金	改善内容	9,000円	9,000円		—	—	時給40円	
	定昇相当額 (実在者平均)	7,604円	3,400円		—	—	—	
	合計	16,604円	12,400円		—	—	時給40円	
	賃金改善率	5.0%	5.0%		—	—	—	
最低賃金		時間額1,170円、日額8,580円、月額180,100円への引き上げ						
一時金		4.5	4.5	4.0	年間 108,000円	年間 108,000円	—	
昨年実績		4.5	4.5	4.0	—	—	—	
安定雇用	無期転換	—	(実現)		—			
雇用環境	私傷病休職	—	(実現)		—	—	—	
	育児時短	(小学校卒業まで)					—	—
単組独自要求		—					—	—
関連会社		事業体に準ずる						

《ろうきんセントラル労組・井上書記長（写真は前列左から3番目）の決意》

ろうきんセントラル労組は、2月14日に開催した第2回中央委員会にて、2024春季生活闘争方針を確立しました。

中央機関の2023年度仮決算においては、連合会の経常利益は前年度を下回り、長引く低金利や、金利情勢の先行きの不透明感等、依然として厳しい状況にあります。今春闘は、昨年から続く物価上昇や、政府による賃上げへの言及等の情勢から、基本賃金改善への組合員の期待も、昨年と同様かそれ以上に大きく、我々は、確立した要求に確信を持って春闘に臨みます。基本賃金は、正職員・嘱託等職員ともに、定昇維持相当分を含め5%の引き上げ、具体的な金額としては、一律9,000円の賃上げを求めます。

中央機関の仲間は、DXの促進と業務改革による金庫の事務量削減、アール・ワンシステムの安定運用、WEB完結型保証審査システムの改善等の事業計画達成に日々邁進していますし、2024年度からは新「ろうきんビジョン2035」に基づいた中期経営計画を進めていきます。働きへの成果として、「人への投資」として、そして組合員のモチベーションの向上と、経済的な不安払拭の一助となることをめざし、全国の仲間とともに闘い抜く所存です。



以上

《全労金のSNSでも紹介しています!》

☆ 全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>)

☆ 全労金Facebook (<https://www.facebook.com/zenrokin>)



※次号は3月7日に発行します!